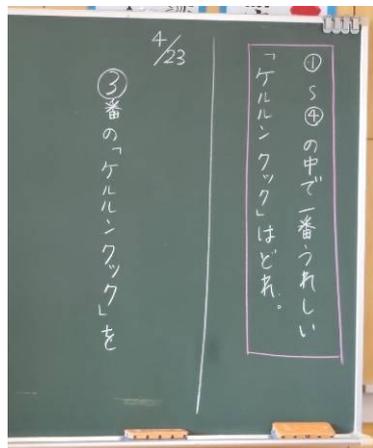


はにい

ケルルクック

平成26年7月4日



この詩には、「ケルルクック」という言葉が4回出てきます。前回の授業では、この4回の中で一番うれしいと感じる「ケルルクック」はどれか、というテーマで学習しました。

今日は、そのとき誰も選ばなかった3番目の「ケルルクック」について、もしこれを一番うれしいと感じる人がいるとしたら、どんな理由が考えられるかを考えます。まず、この課題を文にします。教師は、『③番の「ケルルクック」を』と板書しました。

「さて、この次、どんな言葉を書く？」
「決めよう」「納得させよう」

「3番のケルルクックを決めよう。3番のケルルクックを納得させよう。んー、みんながスッカリする言葉だと学習しやすいよね。では、お隣の人と相談してみよう」

ペアで話し合いが始まりました。

「これはつまりこの3番目の「ケルルクック」のいいところを探そうってことじゃない？」

「3番目のを選ぶとしたら、ってことだよね」

「はい、ではみなさんどうでしょう？」

「3番のケルルクックを、もし選んだとしたら」「あー『もし』か」

「どうですか、『もし』は使えそうですか？」

こうして、話し合いで、みんなが納得する学習課題が作られていきました。



さて、学習課題が作られた後、まず各自が自分の考えをノートに書きます。時間は5分。その後、全員席を離れて、みんなのノートを見て歩きました。



『はにい』は、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp